

Hirata

The Global Production Engineering Company

2017年3月期 第1四半期 決算説明資料

2016.8.10

平田機工株式会社



I 決算状況

2017年3月期 第1四半期 (2016年8月10日)

Hirata

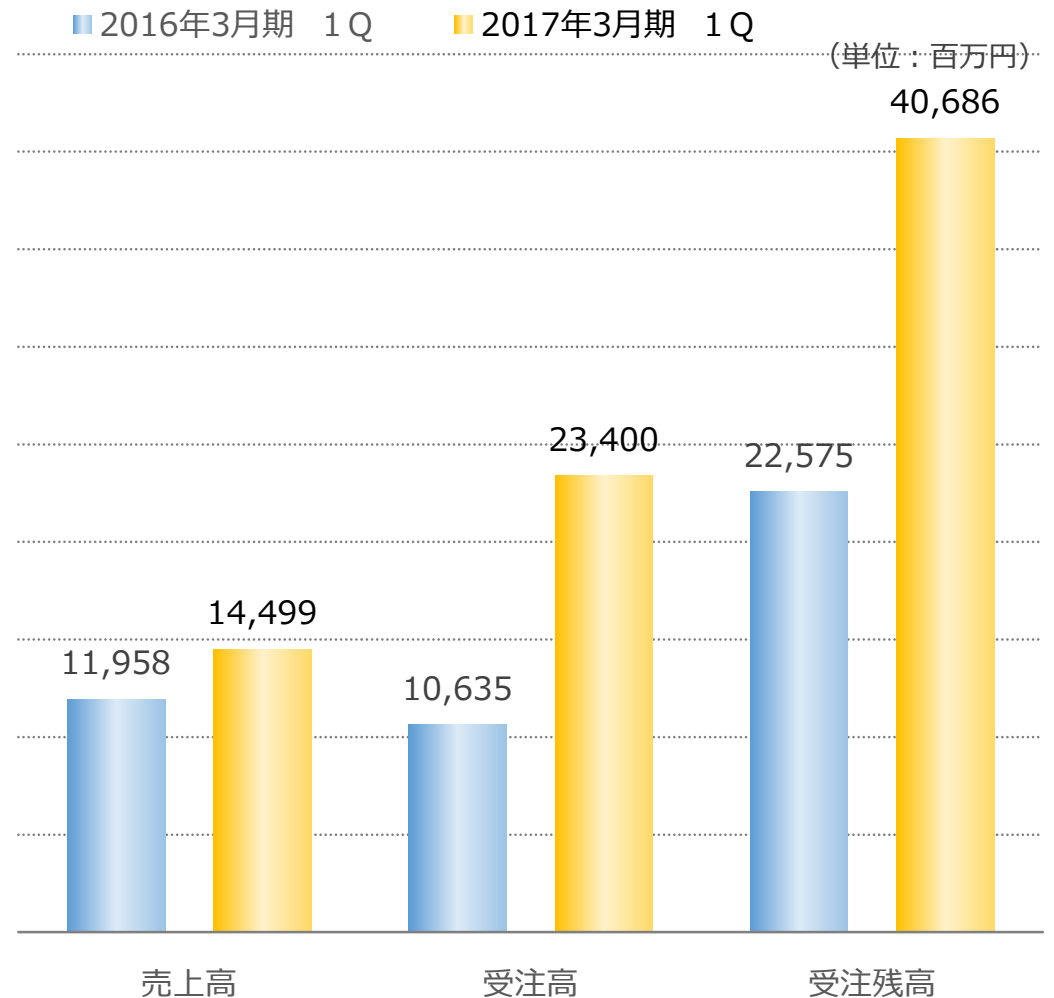


決算概要

自動車関連生産設備事業においては、引き続き北米メーカー向けのパワートレイン関連設備や国内メーカー向けの部品関連設備などが堅調に推移し、また、半導体関連設備事業においては有機EL関連設備の売上拡大により、全体では前年同期比、増収増益となった。

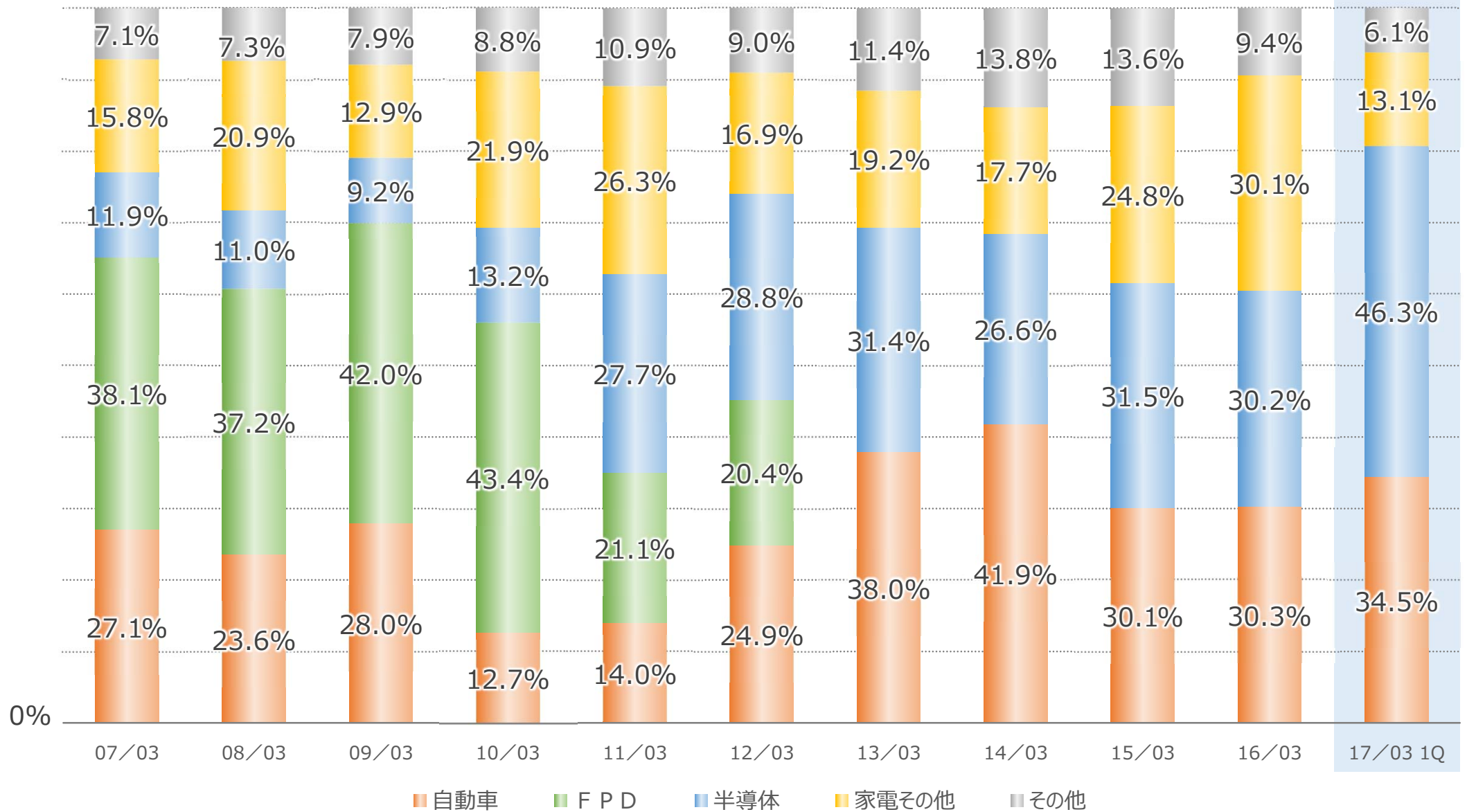
(単位：百万円)

	2016年3月期 第1四半期 実績	2017年3月期 第1四半期 実績	増減率
売上高	11,958	14,499	+21.2%
営業利益	886	1,519	+71.5%
経常利益	904	1,335	+47.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	456	789	+72.9%

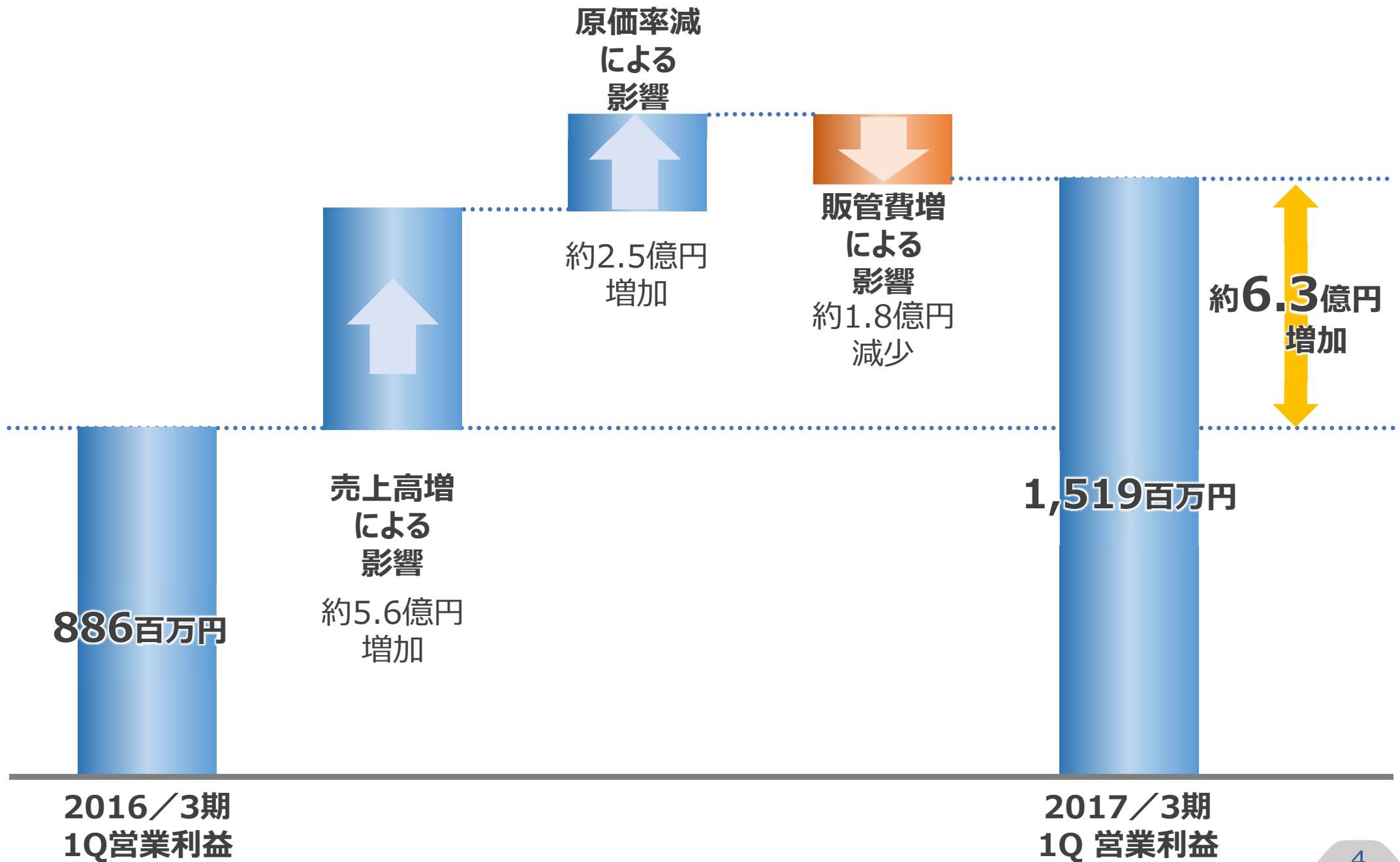


I 決算状況 事業部門別売上高構成比推移

100%



※2013年3月期より、FPD関連事業は半導体関連事業に統合



貸借対照表

(単位：百万円)

資産	2016年3月期	2017年3月期 1Q	増減	負債	2016年3月期	2017年3月期 1Q	増減
流動資産	40,758	45,518	+4,760	流動負債	30,592	35,006	+4,413
固定資産	18,923	18,526	△397	固定負債	7,504	7,440	△64
有形固定資産	15,653	15,539	△113	負債合計	38,097	42,446	+4,349
無形固定資産	398	476	+78	純資産			
投資その他資産	2,872	2,510	△361	純資産合計	21,584	21,597	+13
資産合計	59,681	64,044	+4,362	自己資本比率	35.6%	33.2%	△2.4pt

主な増減項目

資産

現金及び預金	△1,822
受取手形及び売掛金	+5,095
仕掛品	+1,861

負債・純資産

支払手形及び買掛金	+1,851
有利子負債	+1,703
前受金	+1,769

想定為替レート

(単位：円)

	2016年4月1日～6月30日 実績レート	2016年7月1日～ 想定レート
為替レート (対US \$)	108.30	107.00

株価推移

(単位：円)

	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年3月期		
			4月	5月	6月
最高	917	3,100	3,450	4,970	6,840
最低	560	782	2,275	2,990	4,460
末日	799	2,752	3,110	4,780	6,640

PER/PBR/ROE

	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期 1Q
PER (倍)	8.76	16.08	—
PBR (倍)	0.39	1.22	2.95
ROE (%)	4.7	8.0	—

※ PER・ROEについては、四半期の利益では比較に適さないため記載しておりません。

I 決算状況 事業部門別売上高・受注高・受注残高

(単位：百万円)

	事業部門	2016/3 第1四半期	2017/3 第1四半期	対前年同期比 増減率
売上高	自動車	4,172	4,999	+19.8%
	半導体	2,424	6,714	+176.9%
	家電関連その他	3,635	1,897	△47.8%
	その他	1,726	888	△48.5%
	合計	11,958	14,499	+21.2%
受注高	自動車	2,370	7,377	+211.2%
	半導体	3,894	10,865	+179.0%
	家電関連その他	2,793	2,564	△8.2%
	その他	1,577	2,593	+64.4%
	合計	10,635	23,400	+120.0%
受注残高	自動車	8,001	17,543	+119.3%
	半導体	5,143	12,964	+152.1%
	家電関連その他	8,329	7,555	△9.3%
	その他	1,101	2,621	+138.0%
	合計	22,575	40,686	+80.2%

所在地別売上高



	日本		アジア		北米		欧州		合計	
	16/3 1Q	17/3 1Q	16/3 1Q	17/3 1Q	16/3 1Q	17/3 1Q	16/3 1Q	17/3 1Q	16/3 1Q	17/3 1Q
売上高	9,812	12,808	1,323	558	566	1,058	255	75	11,958	14,499
営業利益	1,102	1,613	△109	△76	△86	71	3	△12	910	1,516

※営業利益の合計は、セグメント間の消去を行う前の金額を表示しています。

I 決算状況 トピックス その1

— お客さまからの表彰・受賞の実績を紹介

●ダイソン社 (Dyson Ltd.) からパートナーシップ・アワードを受賞

当社は、6月16日、マレーシアのホテルで開催されたダイソン社主催のサプライヤーミーティング「Dyson's supplier day 2016」にて、Partnership Awardを受賞いたしました。ダイソン社製品の各種モーターの生産および納期、技術力、品質などに当社が貢献したことが高く評価されたものであり、2014年から3年連続の受賞となります。

また、今年4月、ダイソン社が東京で開催したヘアドライヤー発表時に放映されたビデオの中では、「平田機工は、ダイソン社と長年にわたり取引のある素晴らしい会社」と、創業者ジェームズ・ダイソン氏から大変うれしいコメントもいただきました。



I 決算状況 トピックス その2

熊本地震 復興支援への取り組み

本年4月に発生した熊本地震の復旧支援のため、以下のような取り組みを行いました。

1 本社を東京から熊本に移転

2 期間従業員100名超を募集

3 従業員への支援
・特別休暇・災害見舞金・復興貸付金

4 株主優待制度の新設
・熊本城災害復旧支援金 または
・熊本城災害復旧支援金付きクオ・カード

5 取引先244社に対する支援

6 熊本大学との包括連携



本社移転のテレビCM



株主優待 クオ・カード

©2010 熊本県くまモン#K1761

Ⅱ 2017年3月期業績の見通し

2017年3月期 第1四半期 (2016年8月10日)

Hirata



※業績予想に変更はありません。

(単位：百万円)

	2016年3月期実績		2017年3月期予想	
売上高	53,048		60,000	
自動車関連	16,065		20,000	
半導体関連	16,014		20,000	
家電関連およびその他	16,000		15,000	
その他	4,968		5,000	
営業利益 (率)	2,924	(5.5%)	3,500	(5.8%)
経常利益 (率)	2,825	(5.3%)	3,500	(5.8%)
親会社株主に帰属する当期純利益 (率)	1,713	(3.2%)	2,300	(3.8%)

事業計画達成のための施策

過去最高となった前期の売上高を上回る予想であり、特に大幅な増収が見込まれる自動車関連、半導体関連については効率的な社内リソースの活用と一部外注対応により確実に達成する。尚、増築する工場は10月完成予定であり、大幅な増加を見込む有機ELの製造受託案件の生産に対応する。

自動車関連事業

主要市場である米国では、原油安、雇用拡大、賃金上昇などを背景として自動車販売は堅調。加えて、各国の排ガス規制をにらんだ自動車部品関連の設備投資が活発化。当社の主力であるパワートレイン関連設備、自動車部品関連設備も引き続き受注拡大が期待できる。

半導体関連事業

先送りされていた半導体デバイスの投資が回復し、3次元NAND投資も期待できる。FPD製造装置は、中国・韓国の旺盛な設備投資に加え、台湾・日本市場も増加予測。市場は今後、より付加価値の高い有機ELパネル生産が拡大するものと予測され、当社もさらなる受注増が期待できる。

家電関連およびその他

家電業界の再編が世界的に進んだ中、主要な白物・小物家電市場は微減または横ばい予想。一方で、ロボット掃除機などの高機能なデジタル家電は、新興国を中心とした市場拡大が期待される。

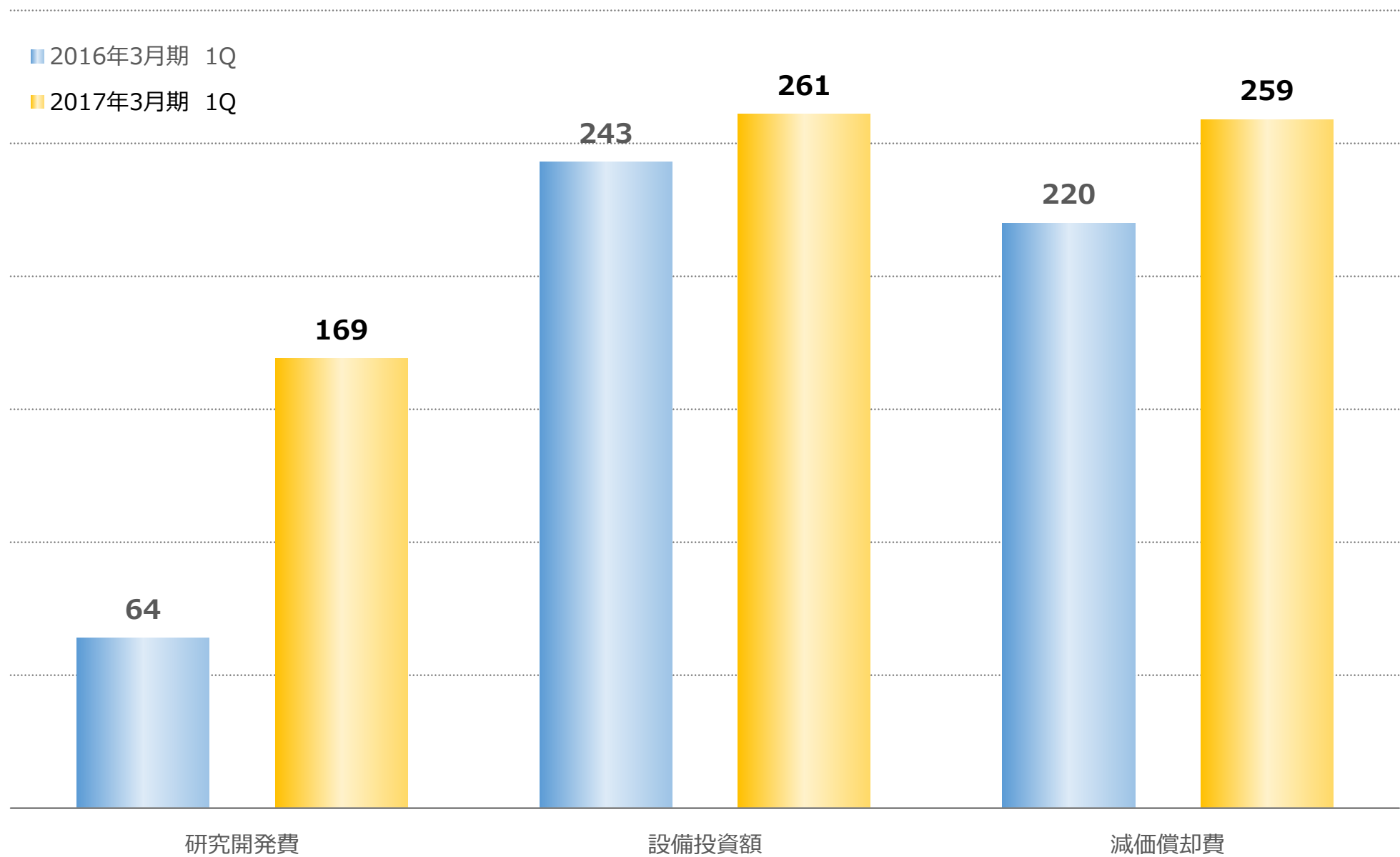
Ⅲ 参考資料

2017年3月期 第1四半期 (2016年8月10日)

Hirata

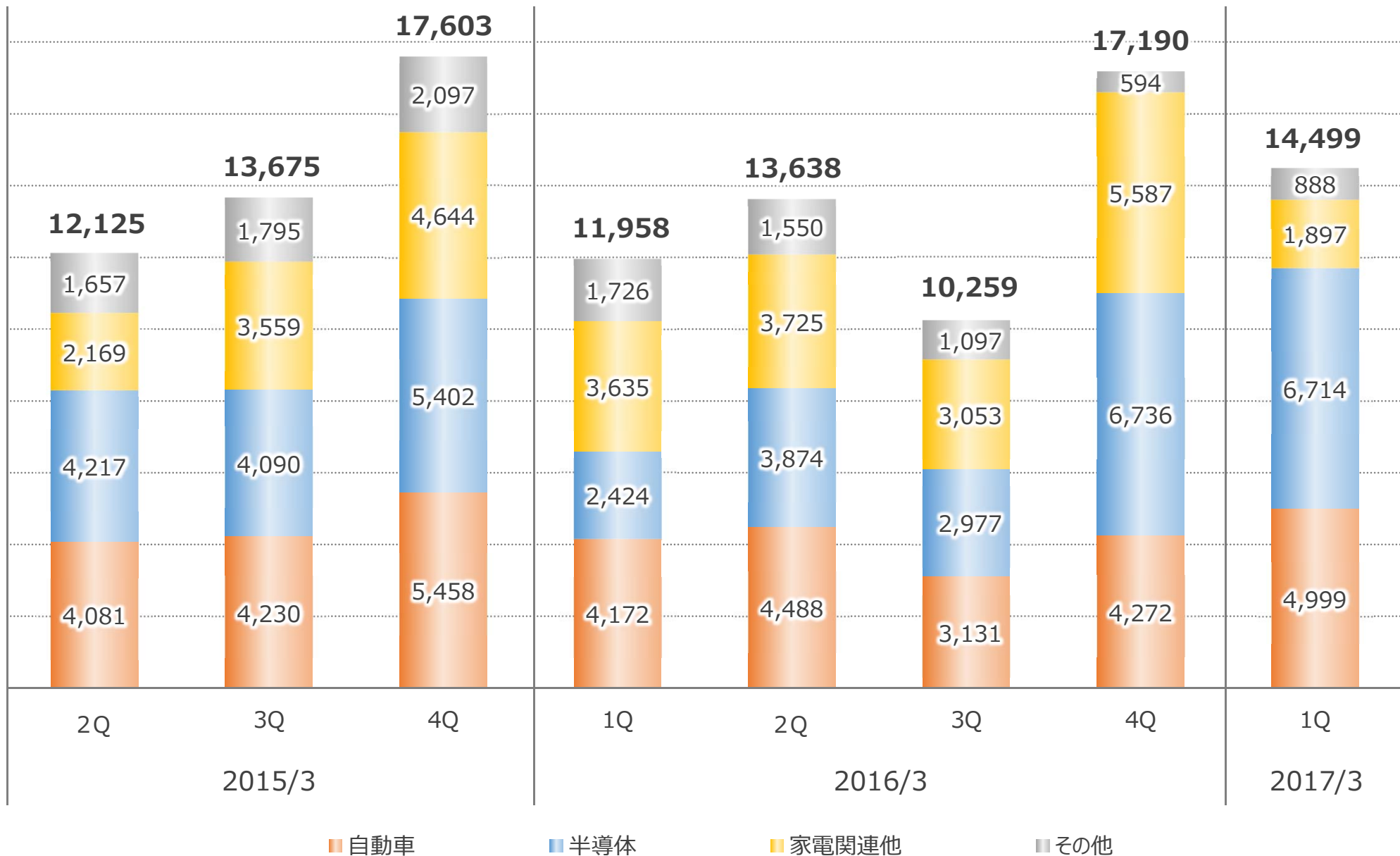


(単位：百万円)



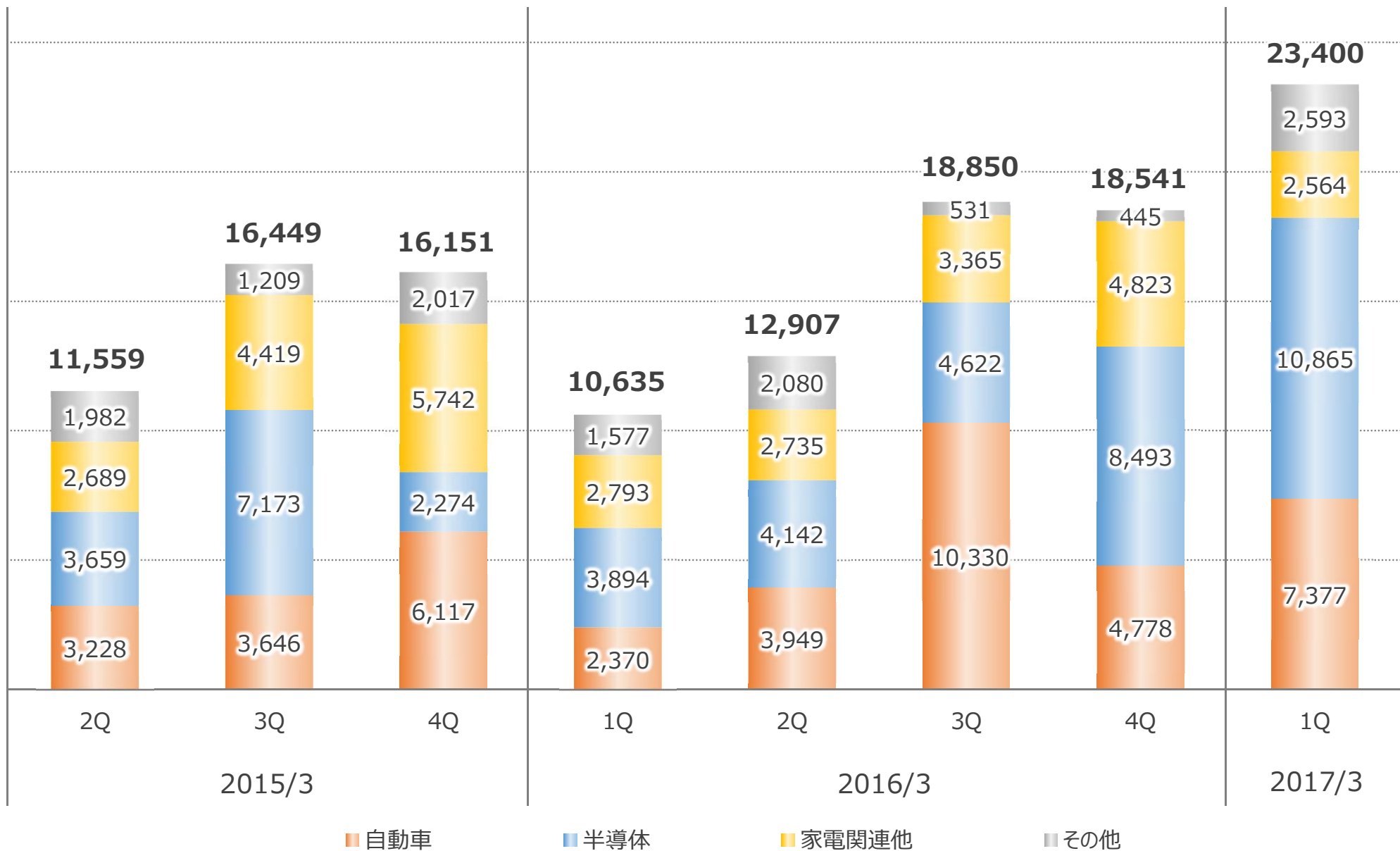
事業部門別四半期売上高の推移

(単位：百万円)



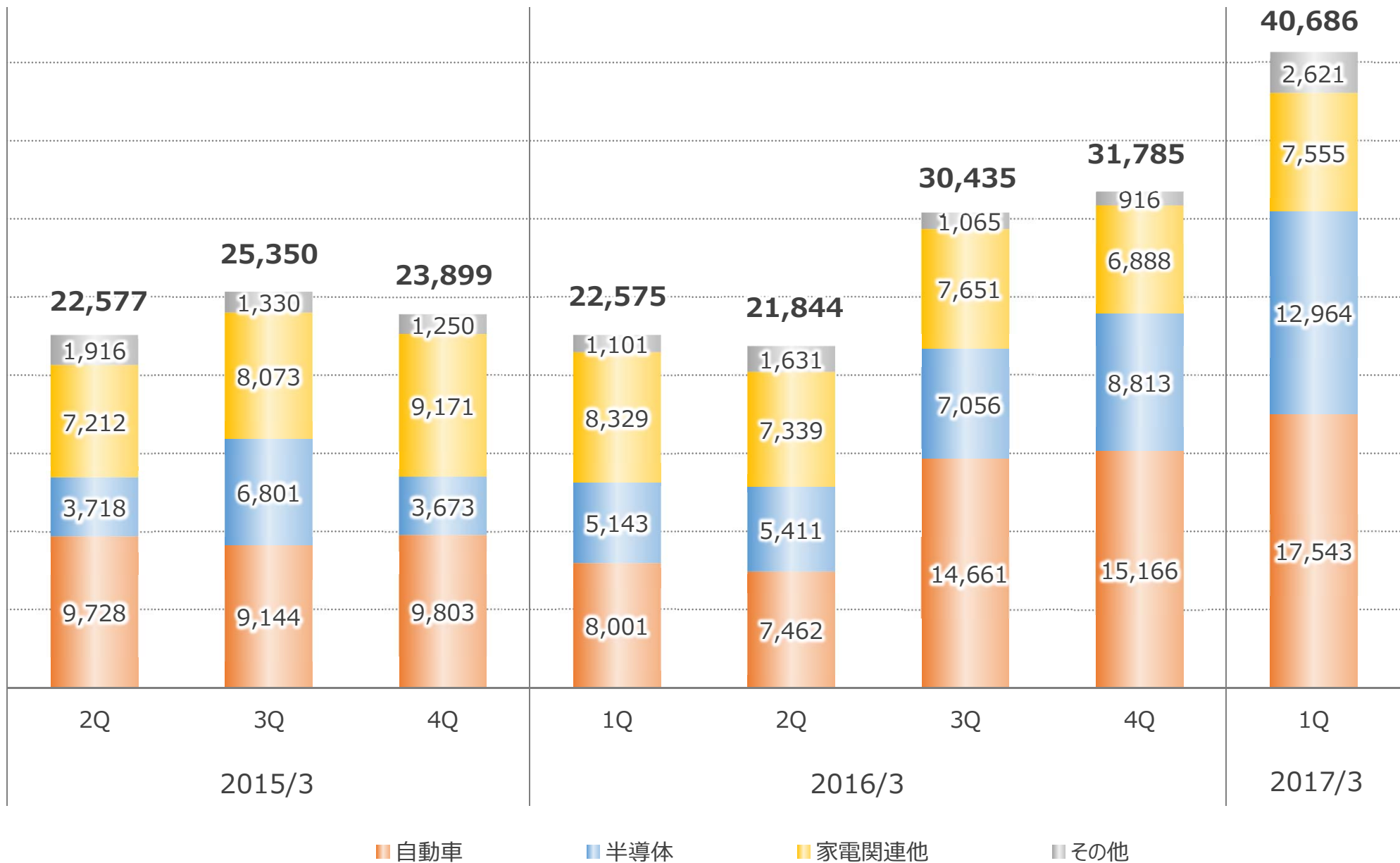
事業部門別四半期受注高の推移

(単位：百万円)

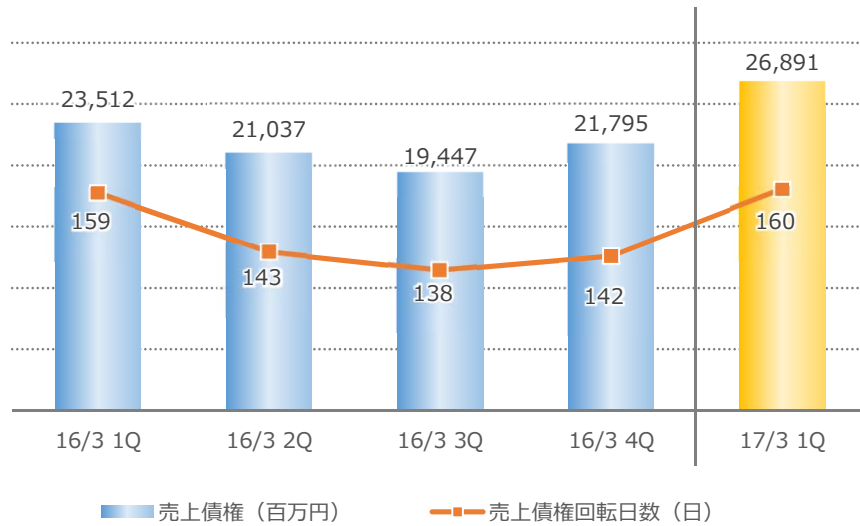


事業部門別四半期受注残高の推移

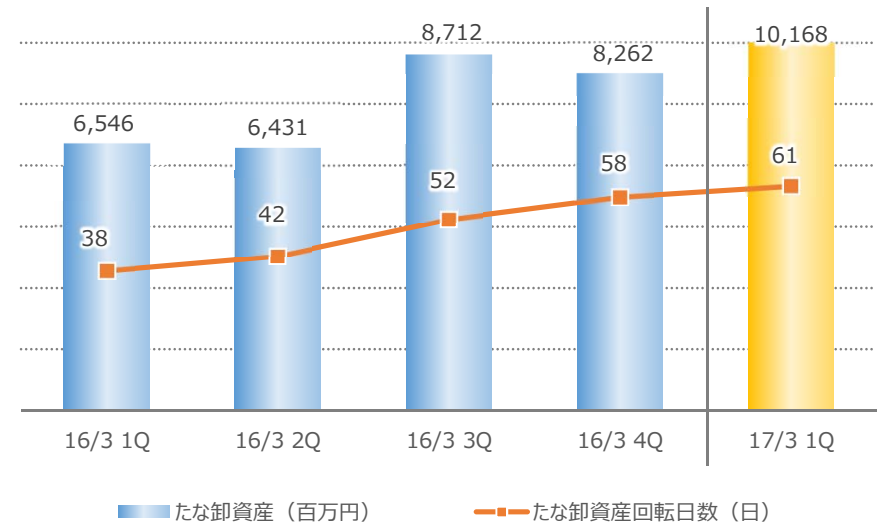
(単位：百万円)



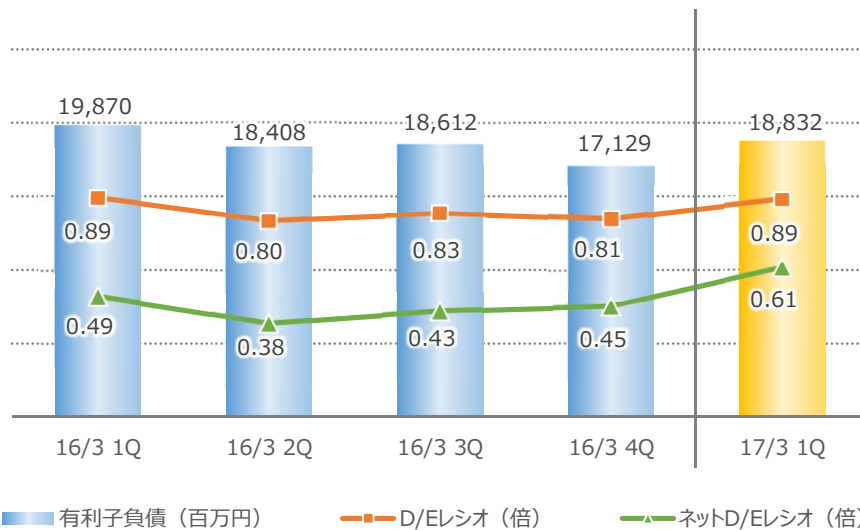
売上債権・売上債権回転日数



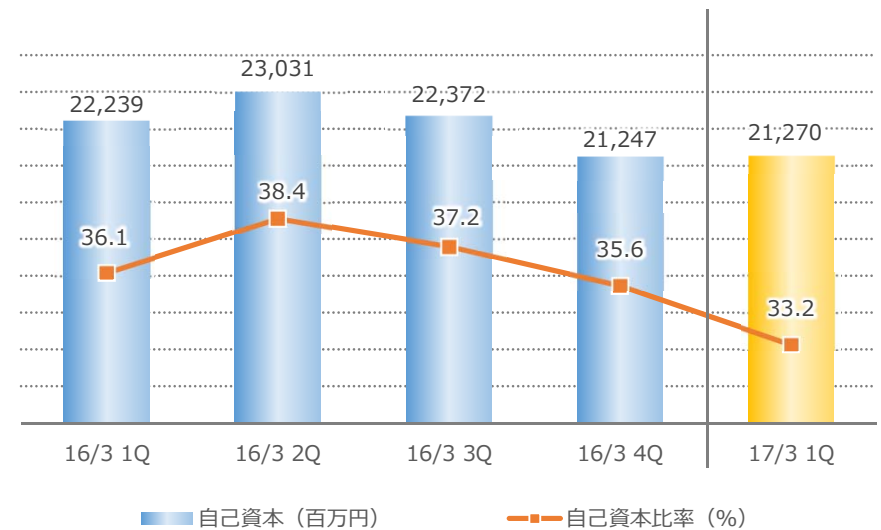
たな卸資産・たな卸資産回転日数



有利子負債残高・D/Eレシオ・Net D/Eレシオ



自己資本・自己資本比率



【注】売上債権回転日数、たな卸資産回転日数については、各四半期毎の期中平均値にて算出しております。

ご注意

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、経済動向、他社との競争状況、為替レートなど潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化などのさまざまな要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。